

岡山商科大学 授業評価アンケート
2014年度後期から2021年度前期まで
学科、非常勤教員別
学生による授業評価の経年変化

岡山商科大学
将来構想検討委員会 資料
2021年10月19日

IR実施委員会

岡山商科大学 授業評価アンケート

2014 年度後期から 2021 年度前期まで

学科、非常勤教員別

学生による授業評価の経年変化

- 1) 本学では、各年度前期、後期に授業評価アンケートを受講生に
対して実施。

アンケート項目は、20 項目。

以下では、学生の勉強に関する項目の内から学修時間に関する 3 項目、
教員の授業に関する項目の内から 3 項目について、
GP 選出の履修者 30 名以上の科目の平均値の経年変化を示している。

- 2) 経年変化は、2014 年度後期から 2021 年度前期までの期間。
- 3) 授業評価アンケートの実施科目

2018 年度までは、各期 100 科目程度であったが、
2019 年度前期からは、WEB により全開講科目で実施している。

- 3) 学部別から学科別に集計の区分が変更

2017 年度前期までは、学部別と法学学部、経済学部、経営学部で示してい
る。

2017 年度後期からは、学科別とし、法学科、経済学科、経営学科、商で示
している。2017 年度前期までは経営学部で集計していたので、2 学科とも
経営学部平均値を表示している。

2019 年度前期からは、非常勤教員についても GP 選出を行っている。

6) 分析結果からの考察

(1) 6項目共通の傾向 : コロナ禍の影響

- ① 2020年度前期からはコロナ禍で講義形式が対面、オンラインになり、2019年度までとは異なった傾向を示している。
- ② 出席の状況は、2020年度前期に増加の傾向を示すが、他の5項目については低下の傾向を示している。

(2) 学生の授業への取組態度の評価

- ① 予習復習時間の傾向は、経済学部、経営学部では2017年度前期までは同じ値で横ばいの傾向を示している。その後は経済学科が高くなり、経営学科、商学科は低くなっている。2019年度後期で最も高い値を示し、2020年度前期には最も低くなり過去の値の最低値に等しいか、それ以下の傾向を示している。法学科では7年間で最も低い値を示し、コロナ禍の影響もほとんどなく低いレベルのままで一定の傾向を示している。
 - ② 出席の状況の傾向は、3学部とも2016年度前期まではほぼ同じ値で横ばい傾向を示し、2018年前期までは経済学科が最も高い値を示し、経営学部、法学部の順に横ばいで値は小さくなり、4学科とも2019年後期に最も低くなる傾向を示している。そして、2020年前期では、4学科とも高くなる傾向を示し、オンライン授業等で対面でないので、出席が高くなったことが予想される。
 - ③ 勉強への集中の程度は、経済学部、経営学部では2015年度前期まではほぼ同じ値であり少し増加の傾向を示し、2018年度前期まで経済学科は増加傾向、経営学部は横ばいの傾向を示している。その後2019年後期に向けて4学科の値は増加の傾向を示し、経済学部が最も高く、経営学部が少し低く、法学科が最も低い傾向を示している。法学科では2017年度後期までは横ばい、その後は増加の傾向を示し、2019年度後期で最も高い値を示している。2020年度前期では、4学科とも低下の傾向を示し、2018年度のレベルに低下するが、2020年度後期、2021年度前期と増加傾向を示し、4学科の差は小さくなっている。
- 全体的な傾向は、法学科で最も低く、経済学科での最も高くなっている。

(3) 先生の授業態度に関する評価

- ① 授業に対する熱意の傾向は、経済学部、経営学部ではほぼ同じ値で2017

年度後期まで増加し、その後は横ばいから増加の傾向を示し、2019年度後期に最大値を示している。法学科では2017年度後期までは横ばいから増加し、その後は2019年度後期まで横ばいの傾向を示している。4学科とも2020年度前期に低下しその後は少し高くなっている。

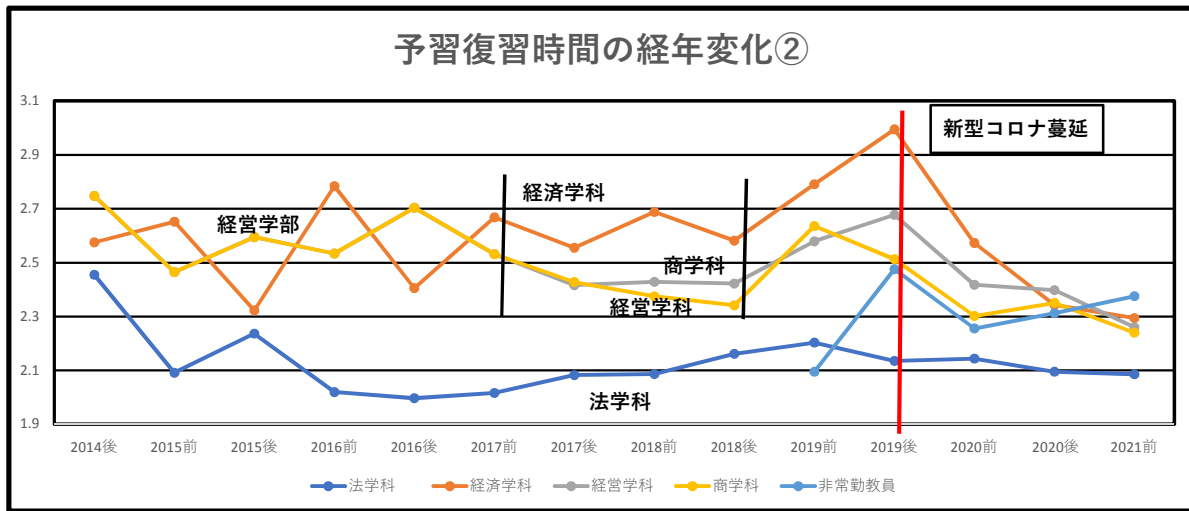
- ② 授業中の授業態度の傾向は、経済学部、経営学部では2017年度後期までは、ほぼ同じ値で増加傾向を示し、2019年度後期までは、経済学科では少し増加し、最も高くなり、商学科、経営学科も少し増加し最も高い値を示している。法学科では2017年度後期まで横ばいから増加の傾向を示し、2017年度後期で他の3学科とほぼ同じ値となり、その後は2019年度後期までは横ばい状態であり、商学科よりも高い値の傾向を示している。2020年前期には4学科とも低下の傾向を示している。
- ③ 授業中の秩序の傾向は、経済学部、経営学では2016年度後期までは少し増加しほぼ同じ値を示し、2018年度後期までは横ばいの状態で、経済学科が最も高く、経営学科と商学科は同じ値を示している。2019年度後期に向けて増加の傾向を示し、3学科とも最も高い値を示している。法学科では2016年度前期までは低下傾向で最も低い値を示し、2017年度後期までの間に経済学科の値まで増加の傾向を示し、その後は横ばいで2019年度後期となり、他の3学科よりも低い値を示している。2020年前期は、4学科とも低下の傾向を示し2020年度後期は少し高くなる傾向を示している。

岡山商科大学 授業評価アンケート

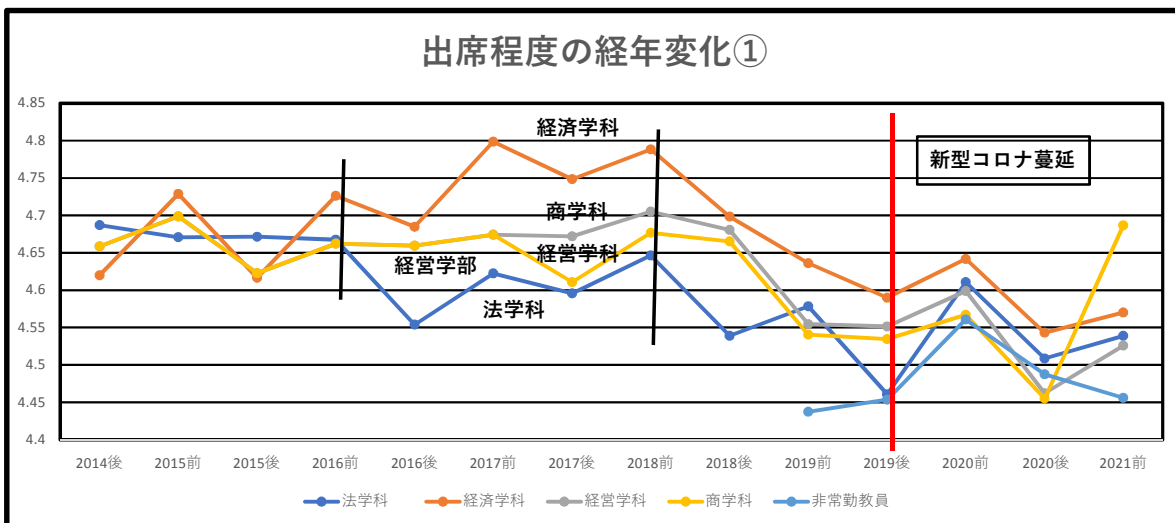
2014年度後期から2021年度前期まで経年変化

1. 学生の学修時間や学習態度に関する項目

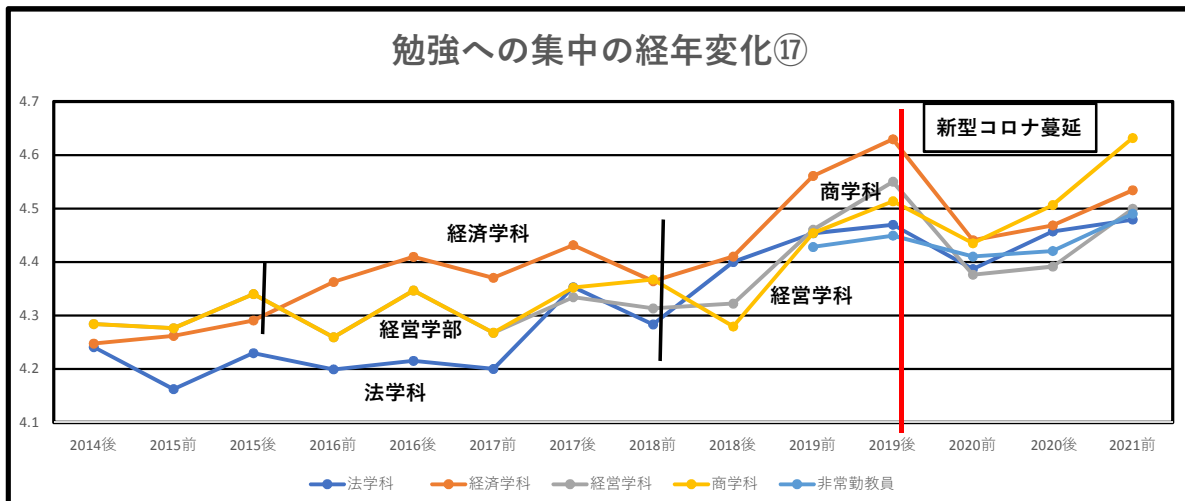
1.1 予習、復習時間の経年変化



1.2 授業への出席状況の経年変化

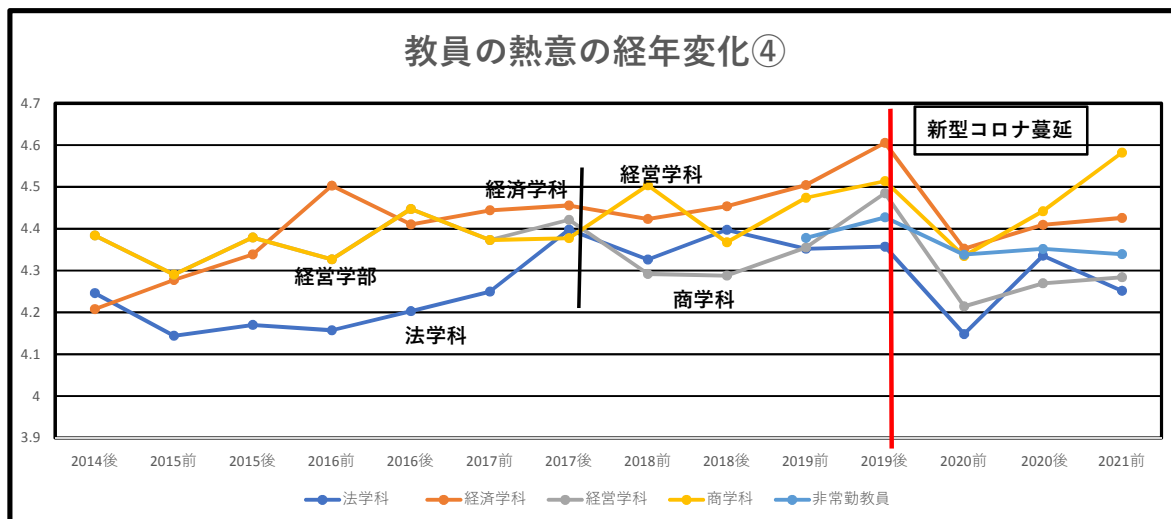


1.3 授業への集中の程度の経年変化

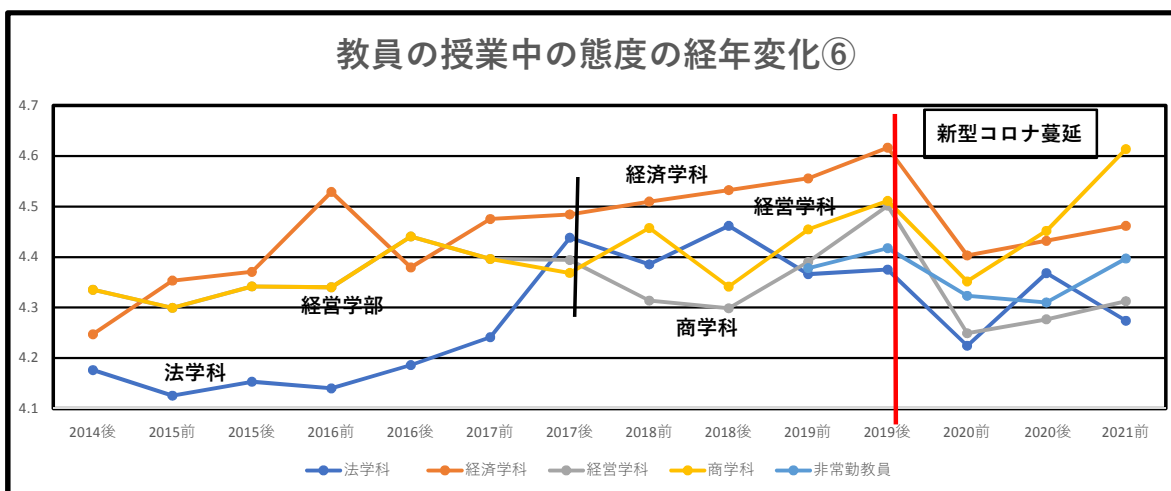


2. 学生による授業評価に関する項目

2.1 教員の授業に対する熱意の経年変化



2.2 教員の授業中の態度の経年変化



2.3 教員の授業中の秩序維持の経年変化

